



第153号

発行／岡山県統計分析課

岡山県人口
1,845,168人

(令和5年12月1日現在)
岡山県毎月流動人口調査より

ごあいさつ

岡山県総合政策局
統計分析課長 齋藤秀哉

平素から統計調査に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

統計は、社会経済の状況と変化を的確に把握し、証拠に基づき政策立案を支える重要な情報基盤の役割を果たしています。昨年は、調査員をはじめ関係の皆様方の御尽力により、経常調査に加え、住宅・土地統計調査等の周期調査を円滑に実施できたことに深く感謝いたします。

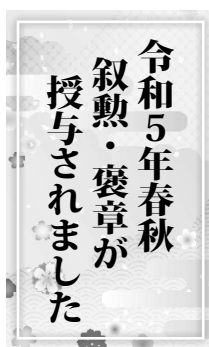
統計調査を取り巻く環境は、個人意識の高まりや昼間不在世帯の増加、オートロックマンションの増加等により調査対象者との接触が難しくなるなど、年々厳しさを増しております。こうした中、県としても、個人情報保護の徹底や報告者負担の軽減等の環



藍綬褒章



瑞宝単光章



境づくりを進めるとともに、統計調査の普及啓発などに一層取り組んでまいっている所存です。

今年、全国家計構造調査、農林業センサスが実施されます。引き続き、皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます。



令和5年度岡山県統計功労者・統計グラフコンクール表彰式（左：会場の様子、右：代表謝辞）



長年にわたり公共のために尽くされた4名の統計調査員の方々が、令和5年春及び秋の叙勲・褒章を受章されました。

受章者の皆様、誠におめでとうございます。

（受章者の皆様の喜びの声を、本誌2頁及び3頁に掲載しています。）

令和5年度
岡山県統計功労者が
表彰されました

令和5年11月27日、岡山市内において岡山県統計功労者表彰式が執り行われ、総務大臣、厚生労働大臣、厚生労働省政策統括官、岡山県知事及び岡山県総合政策局長の各賞が、特に統計調査に功労のあった調査員53名及び調査協力事業所11事業所に対して授与されました。

（受賞者の皆様について、本誌4、5頁に掲載しています。）

令和5年度岡山県統計
グラフコンクール
最優秀受賞者が
表彰されました

身近な統計データをグラフにして表現力を競う「岡山県統計グラフコンクール」の表彰式を、岡山県統計功労者表彰式と併せて開催し、最優秀受賞者7名を表彰しました。

入賞作品32点については、令和5年12月に岡山県庁1階県民室で展示しました。令和

6年1月18日から2月18日まで県立図書館1階エントランス西口通路で展示しています。また、作品は、岡山県統計分析課ホームページにも掲載しています。

（受賞者の皆様について本誌5頁に、受賞作品は7頁に掲載しています。）

令和6年度に実施される
主な統計調査

【総務省所管】

- ・労働力調査
- ・小売物価統計調査
- ・家計調査
- ・全国家計構造調査

【文部科学省所管】

- ・学校基本調査
- ・学校保健統計調査

【厚生労働省】

- ・毎月勤労統計調査

【農林水産省所管】

- ・農林業センサス



© 岡山県「ももっち・うらっち」

御受章おめでとぅございます 令和五年叙勲・褒章 受章者の喜びの声



春の叙勲《瑞宝単光章》

「地域に溶け込む」

各種統計調査員

領家 千鶴子さん
(倉敷市)



私は大阪から倉敷に嫁いできましたので、近所のことしか知らず、まわりのことも何もわかりませんでした。そんな時に、統計調査員をやってみないかと義妹から声かけがあり、やってみようと思いい統計調査員になりました。

最初の統計調査は国勢調査でした。統計調査員としての

仕事は地図を書くことから始まりました。南北に長い調査区の地図を用紙の中に書き納めるのは大変な作業でしたが、一軒一軒書いていくうちに調査区の町並みがわかりました。

近くに調査員をされている方もおられて顔見知りになり、声をかけていただくことが多くなって、たくさんの方々と知り合いになりました。とてもうれしく思います。長年、統計調査に従事してきたことで、地域に溶け込めたと思えました。また、調査員の仕事に従事することで、今、住んでいる地域のことをより深く知ることができました。

そんな中でも、私は、調査

春の褒章《藍綬褒章》

「ホッとして満足」

国勢調査員

安藤 喜美子さん
(岡山市)



令和5年春の藍綬褒章の知らせが思いがけなく届き、おどろきで脚のすくむ思いでした。身に余る榮譽に、すぐお祝いの御言葉をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

井の中の蛙だった私が、広い世間を勉強できたのは国勢調査や統計調査のお手伝いを何度もできたお蔭だと思っています。

私が統計調査員になったのは、昭和53年に43歳で消費生活モニターを務めたのに続き、昭和55年の国勢調査を手伝うことになったのがきっかけでした。

けでした。

終戦間際に母の実家を頼って大阪から岡山に帰り、牟佐で育ち、年月が過ぎて婦人会の役員や農協婦人部の役員を引き受けるなど、地元の先輩に頼まれると何でも協力していた頃でした。

最初に従事した調査について古い日記を読み返してみましたが、つらいとか困ったとか何も書いていません。日記で調べると76回程、調査に従事していました。もう40年以上前のことで記憶は薄れていますが、調査のお願いに回っても笑顔で迎えてくださったことはよく覚えていいます。困ったことは無かったと思います。日記には、調査票に記録不備の所があると役所から連絡があり再度記入してもらったことを書いていました。また、調査票を全部役所に納めることができた役目が終わったとホッとして満足したとも書いていました。

春の褒章《藍綬褒章》

「丁寧な説明を」

国勢調査員

大月 要さん
(総社市)



調査に当たって心がけたのは、調査票に記入された個々の家族のことなどの秘密を守ることです。秘密を守るのは当然ですね。

高校を卒業して編物講師の資格を取り、何年か我家で編物教室を開いていました。この年（88歳）になってもまだ、頼まれたら機械で編んで作品を仕上げています。

また、父が水墨画をたしなんでいましたので、その影響で私も筆を持ち美術学園の通信教育で勉強して美術学園賞をもらい、牟佐公民館で趣味のつどいを細々と開いています。

統計調査は、事業所や地域の皆様の協力がなければ成り立ちません。事業所や世帯に調査のお願いに行きますが、行く先々で敏速に対応してくださる事業所や世帯が多く、感謝しています。

調査に当たっては、事業所や世帯に対して丁寧に説明す

秋の叙勲《瑞宝単光章》

「ガンバリました」

各種統計調査員

川越 和子さん
(岡山市)



統計調査員になったキッカケは、旧吉備町役場でアルバイトをしていた頃、近くの支所に行った時に支所の人から、まるでアルバイトの仕事を紹介する様に、こんな仕事があるよと統計調査員の仕事を教えてもらったことでした。

長年、統計調査に従事した中で印象に残っているのは、特にアパートやマンションでは調査に協力いただけなかったが多かったことです。

一言では言えませんが、統計調査のお願いに行き、「調査」と言えば「そんなことに

は協力できない。」と、きつく言われ戸を閉められたことがあります。でも近所の人たちは、統計調査と分かってくれば協力してくれました。やはり、日頃からつながりのある地の人は良いと思いました。

統計調査に従事するうえで心がけてきたことは、粘り強く丁寧に協力をお願いすることです。担当した地域にはアパートが多くて、世帯の人と会えない、人が居ても会ってくれない、すぐに戸を閉められる、といったことが多々ありましたが、なんとかガンバリ、長年、統計調査を続けてきました。

現在は、カラオケで楽しく日々を過ごしています。



は協力できない。」と、きつく言われ戸を閉められたことがあります。でも近所の人たちは、統計調査と分かってくれば協力してくれました。やはり、日頃からつながりのある地の人は良いと思いました。



令和5年度岡山県統計功労者・統計
グラフコンクール表彰式を開催しました

表彰された統計功労者（調
査員53名、調査協力事業所11
事業所）及び令和5年度岡山
県統計グラフコンクール最優
秀賞の受賞者（7名）は次の
とおりです。（敬称略）



令和5年度 統計功労者
統計グラフコンクール最優秀賞受賞者のみなさま

代表謝辞

受賞者を代表して、総務大
臣表彰を受賞された伊藤比佐
子さんが、長年の調査員とし
ての活動を振り返り、「相手
の立場に立った丁寧な調査を
心がけてきました。統計の重
要性について、引き続き普及
啓発に精進します」と謝辞を
述べられました。



岡山県
統計功労者の紹介
【総務大臣表彰】



総務大臣表彰受賞者

▽労働力調査（調査員）
《倉敷市》
福井徳美
渡邊京子
《備前市》
相田頼子

垂水エミ
三秋良恵
《玉野市》
山下政子

【岡山県
総合政策局長表彰】
▽各種統計調査（調査員）

《岡山市》

鮑子澄夫
市原京子
恩藤裕子
金田真由美

坂本宏子
徳永倫子
内藤叔子
能登原邦子

堀川浩一
前北昌一
光田昌代

山本真紀子
吉川哲三郎

《倉敷市》

荒井美代子
小倉祐加子
小田昌加
岸下勝美
佐藤淳生
杉原和正
西一生

▽小売物価統計調査（調査員）
《岡山市》
佐久間多美恵

▽家計調査（調査員）
《岡山市》
宮原洋平

▽令和4年就業構造基本調査（調査員）
《岡山市》
伊藤比佐子
織間薫

▽各種統計調査（調査員）
《岡山市》
寺園照世

《総社市》
菅原京子

【厚生労働大臣表彰】
▽毎月勤労統計調査（調査員）
《倉敷市》
小林慶子

▽毎月勤労統計調査（事業所）
《岡山市》
学校法人川崎学園川崎医科
大学総合医療センター

東島由美子
平松ひろみ
藤原紘子
本正美佐子
室山寛子
《津山市》
尾谷照将



岡山県総合政策局長表彰受賞者



岡山県総合政策局長表彰受賞者

山陽技研株式会社
株式会社ソルコムマイスタ
岡山営業所
株式会社永谷園フーズ岡山
御津工場
株式会社林原岡山機能糖質
工場
リコージャパン株式会社岡
山事業所



厚生労働大臣・厚生労働省政策統括官表彰受賞者

《倉敷市》
とら醤油株式会社
《津山市》
蒜山食品加工株式会社
《玉野市》
株式会社菰下鎔断玉野事業
所
《笠岡市》
井笠製袋株式会社

《笠岡市》
岡田秀一
那須健治
《井原市》
橋本利美
《総社市》
前田温美
《新見市》
柴田洋人
元田禎一郎
《瀬戸内市》
片岡和久
《真庭市》
大垣宣雄
森稔

岡山県統計グラフ
コンクール最優秀
賞受賞者の紹介

▽第1部（小学1・2年生の部）
総社市立総社小学校
2年 大久保匠人

▽第2部（小学3・4年生の部）
岡山市立伊島小学校
4年 今村聡太
2年 今村亮太

《赤磐市》
株式会社西山組

【厚生労働省
政策統括官表彰】
▽毎月勤労統計調査（調査員）
《笠岡市》
津田睦美
《浅口市》
古城文恵



岡山県知事表彰受賞者

《岡山市》
浅越雅子
齊藤政子
白石優子

▽第3部（小学5・6年生の部）
総社市立総社小学校
5年 大久保翔太

▽第4部（中学生の部）
ノートルダム清心学園
清心中学校
2年 兒玉実桜

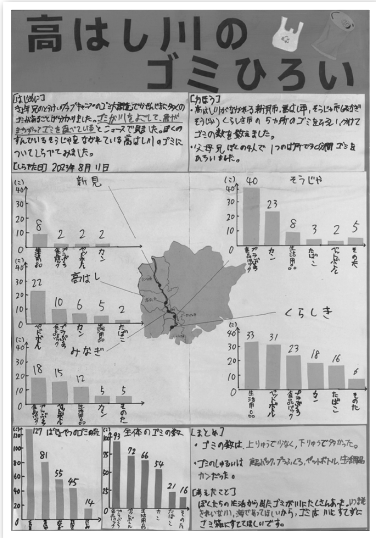
▽第5部（高等学校以上の生徒
及び一般の部）
岡山県立
岡山朝日高等学校
3年 佐野文音

▽パソコン統計グラフの部
（小学生以上）
岡山理科大学
3年 木山丈裕



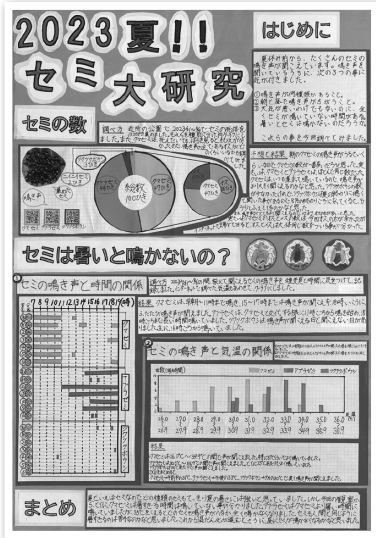
岡山県統計グラフコンクール最優秀賞受賞者

令和5年度岡山県統計グラフコンクール最優秀賞受賞作品の紹介



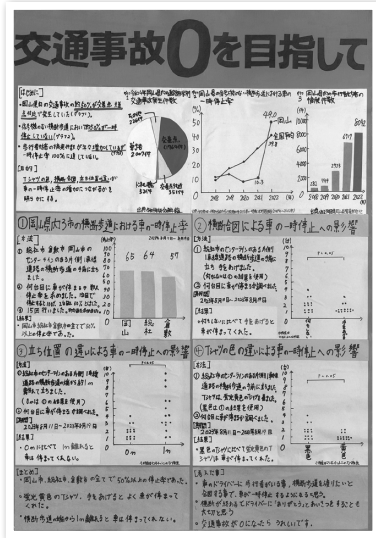
第1部(小学1・2年生の部)
 総社市立総社小学校
 2年 大久保匠人

たかはし川のごみひろいをしたらぼたちの生活から出たゴミがたくさんありました。いつまでもきれいな川であってほしいから、ゴミは川にすてずにゴミばこにすててほしいです。ゴミの数を数えるのがたいへんでした。



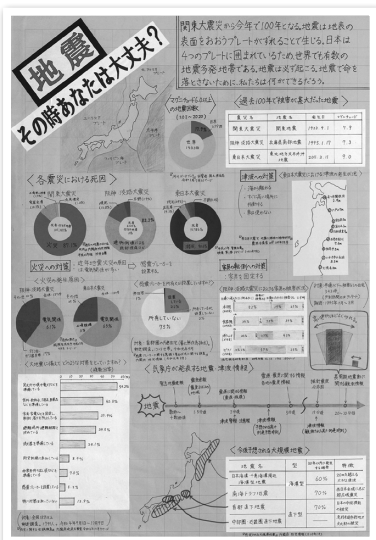
第2部(小学3・4年生の部)
 岡山市立伊島小学校
 4年 今村聡太 2年 今村亮太

(聡太さん)セミの数を調べた結果やセミの鳴き声を観察した結果を分かりやすくグラフにまとめる所をがんばりました。セミの種類ごとに色を変えたり、円グラフや棒グラフなど、使うグラフの種類を変えたところを工夫しました。
 (亮太さん)大々だったことは、セミのイラストをかくこととセミを呼び集めて数を数えることです。おどろいたことは、クマゼミの後にアブラゼミが鳴くことです。題名や見出しの文字を見やすくするようにがんばりました。



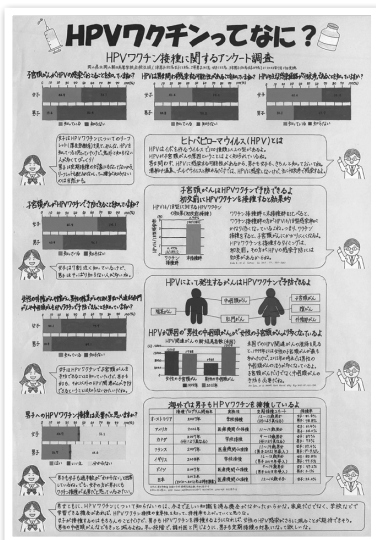
第3部(小学5・6年生の部)
 総社市立総社小学校
 5年 大久保翔太

岡山県で多くの交通事故が起きて歩行者がケガをしています。今回の調べた結果交通事故が0になったらうれしいです。グラフの見出し、結果、まとめ、考えた事の色を変えて見やすい様に工夫しました。



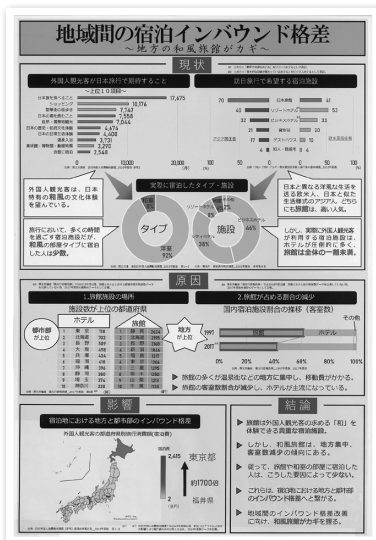
第4部(中学生の部)
 ノートルダム清心学園 清心中学校
 2年 児玉実桜

私がグラフ作成で一番気を付けた所は色使いです。例えば死因のグラフでは火災は赤、溺死は青とし、内容と色を一致させ、その対策を囲む色も同じにしました。又、グラフ全体で同じ色を使わないように工夫しました。



第5部(高等学校以上の生徒及び一般の部)
 岡山県立岡山朝日高等学校
 3年 佐野文音

見たくなるようなポスター作りを心がけました。さらに、グラフや表を使うことによって理解を深められるようにしました。資料を作成するにあたり、快くアンケートに答えてくれた朝日高校の皆さんに感謝します。



パソコン統計グラフの部(小学生以上)
 岡山理科大学
 3年 木山丈裕

示されたデータの内容を理解しやすく図示する、といったグラフを用いる本来の目的に沿うように意識して作成に取り組みました。地方の問題に焦点を当て、調査に励んだ事が報われ、嬉しく存じます。

令和6年10月～11月にかけて「全国家計構造調査」が実施されます。

【調査の目的】

全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国及び地域別に明らかにすることを目的とした調査です。

5年に1度実施され、前身の全国消費実態調査から通算すると、今回が14回目になります。

【調査の時期】

令和6年10月～11月（予定）

【調査対象】

（市町村調査）

全市及び鏡野町、勝央町において無作為に抽出した約千三百世帯

（県調査）

岡山市、高梁市、津山市で実施している「家計調査」の対象世帯の一部

【調査の方法】

（市町村調査）

調査員が対象世帯を訪問し調査票を配布します。

調査票の提出方法は、インターネット回答、郵送提出、調査員回収の3種類があります。

調査員が対象世帯を訪問し調査票を回収します。

（県調査）

調査員が対象世帯を訪問し調査票を回収します。

【調査事項】

- ・世帯、世帯員等
- ・年収、貯蓄、借入金等
- ・家計の収入及び支出
- ・個人的な収入と支出

【調査結果の活用】

社会保障制度や税制、貧困対策等生活関連施策の基礎資料となります。



令和7年2月1日現在で、農林業センサスの一環として農林業経営体調査が実施されます

【調査の目的】

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにする国の統計調査で、農業で16回目、林業で10回目の実施となります。（5年に1度実施）

センサスとは、英語で「全数調査」という意味です。



【調査の期日】

令和7年2月1日現在

【調査対象】

一定規模以上の農業者又は林業を営んでいる方、農林業を委託している方（世帯及び組織）全てが調査対象となります。

【調査事項】

世帯及び組織の状況、労働力、経営の態様、経営の特徴、

耕地、農業生産の概況、山林・林業作業、素材生産、農産物・林産物の販売、農作業・林業作業の受託などを調査します。



【調査の方法】

統計調査員が12月中旬から調査票を世帯及び組織ごとに配布します。

世帯及び組織は2種類の提出方法が選べます。

- ① 調査票を統計調査員へ提出
- ② インターネットで回答

例外として、感染症や家畜伝染病、災害の発生などにより、調査員による回収が著しく困難となった場合に限り、郵送による提出が可能です。

【調査結果の活用】

国や県及び市町村が、農業施策の企画・推進・評価する際の重要な基礎資料となります。

また、各種交付金の算定のための資料、農林業に関する統計調査を実施するための母集団情報などに幅広く活用されます。

【今回から導入されること（主要改正点）】

- ・インターネットによる回答は、国のシステム変更により、スマートフォンなどによる回答も可能となります。
- ・統計調査員や調査対象の方からの問合せに対応するためのコールセンターについて、調査の繁忙期にオペレーターを増員するなど、対応が充実されます。
- ・過去1年間の農産物・農業生産関連事業の販売・売上金額に占める、輸出金額の割合などについて、新たに把握することとなります。
- ・世帯員の把握については、記入者負担の軽減を図るため、農作業に従事しない世帯員の把握を取りやめ、農作業に従事した世帯員のみ把握することとなります。
- ・その他、利活用が低調な調査項目については、記入者負担の軽減を図るため、廃止・縮小されることとなります。

**令和5年度登録調査員
中央研修に参加しました**

令和5年12月14日に東京都新宿区の総務省第二庁舎で登録調査員中央研修が開催され、本県からは倉敷市の安藤千世さんが参加しました。

1 研修内容

(1) 講義「社会における統計の活用事例について」

(2) 班別討議
テーマ「調査活動における成功した事例、成功に至った工夫」、「調査活動において困った事例、困難だった事例」

2 参加した感想

安藤 千世さん（倉敷市）



今回は大変貴重な経験をさせていただきました。私がこの研修に参加したのは、訪問世帯での対応について初心に帰って学びたいと思ったからです。

講義では、統計調査の大切

さが伝わっていないため学校での統計教育が必要なこと、また、統計教育で調査の理解が深まれば協力が得られ易くなることを学び、期待できると思いました。

班別討議では、テーマについては全国から集まった調査員の方々は同じような意見でしたが、それぞれが創意工夫された多くの事例を聞くことができました。お聞きした事例を参考にオンラインの推進、丁寧な連絡メモの活用、効率的な訪問など、今後、役立てて活動しようと思います。

調査により色々な方と出会えることは、自分にとって人生経験の教えになります。この教えを日々の生活に生かせていけたらと思っています。

**令和5年度
都道府県別登録調査員
研修が開催されました**

令和5年11月2日に岡山市で登録調査員研修が開催され、調査員の方々22名が参加しました。

初めに「統計調査員の仕事について」の動画を視聴した後、「統計調査に必要な応接・マナーについて」の講義を受け、続いて二つのテーマについて班別に討議し情報交換しました。

研修内容

(1) 講義「統計調査員の仕事について」
令和3年度に全市町村に配

布された登録調査員研修用DVDのうち「第1章統計調査について」、「第2章オンライン調査について」を視聴しました。

(2) 講義「統計調査に必要な応接・マナーについて」

講師から、身だしなみ、言葉遣いや表情など第一印象を良くすると物事が好意的に解釈されやすいこと、相手により受け入れてもらうために、明るく、はっきりと、わかりやすい言葉で「正確性」と「温かさ」をもって話すことの大切さを学びました。

(3) 班別討議

初めに自己紹介をした後、「居留守を使われ調査対象に会えない時の対処方法」、「調査拒否や調査票記入を断られ

た際の対処方法」について班ごとに話し合い、最後に話し合った内容を発表して参加者全員で共有しました。



研修風景

**調査関係書類の取り扱いに
御注意ください！**

⚠️ 置き忘れに注意！

訪問先等から立ち去る時は、忘れ物がないか必ず確認を行ってください。買い物等の寄り道は控えるようにしましょう。また、調査員証の紛失にも気をつけましょう。

⚠️ 盗難（ひったくり・置き引き）に注意！

わずかな時間でも、調査関係書類を手元から離さないように注意をしてください。自転車のかごは特に注意しましょう。



⚠️ 風などに注意！

調査関係書類は、風で飛ばされないように気をつけてください。その都度必要な書類だけ取り出すようにしましょう。

⚠️ 家でも注意！

帰宅後は書類が揃っているか確認し、家族等の目に触れない場所に厳重に保管しましょう。調査で知り得た情報は、例えば家族であっても絶対に漏らしてはいけません。

⚠️ 調査方法に注意！

調査票等には、あらかじめ個人情報等が印刷されているものもありますので、誤って別の調査票等を配布することがないように注意してください。封をして提出された調査票は絶対に開けてはいけません。

発行・お問い合わせ先

岡山県総合政策局統計分析課

〒700-8570

岡山市北区内山下二丁目4-6

◆ TEL 086-226-7258

◆ FAX 086-221-8240

◆ Email: toukei@pref.okayama.lg.jp

◆ ホームページ

岡山県統計分析課

